

CENTENARY

2008. 11 .18
第 16 号
兵庫県立加古川西高等学校



教育目標 人格の形成

部活動等の 結果と予定

【美術部】第32回兵庫県高等学校総合文化祭美術工芸部門において、本校2年生岸野照葉さんと高田えり子さん、藪下容子さんが見事に特選を獲得しました。



岸野照葉「原色人間」

その結果、岸野さんは来年、三重県で行われる第33回全国高校総文へ、高田さん、藪下さんは来年、京都で行われる第29回近畿高校総文への各出品が決定しました。



高田えり子「音」



藪下容子「描く」

日頃の熱心な活動がこのような立派な成果となつたことは大変喜ばしいことでありませぬ。今後のさらなる活躍を期待していただきます。

【茶道部】3年前に県の高文連に茶道部門がつくられ、今年初めて近畿総合文化祭に参加することになりました。

そこで参加校を選考することになり、選考会が去る9月28日に神戸で行われました。5名1チームで亭主側と客側の両方の作法を審査します。

結果、本校茶道部が選ばれ、11月16日に徳島で石川流のお点前を披露します。初めてのことで緊張しているとのこと。

【演劇部】第49回東播磨支部合同発表会が10月11・12・13に明石市西部市民

会館で行われ、2年生宮崎友里さんが手がけた脚本『Change』を演じ、結果見事に優秀賞を獲得しました。

さらにその脚本自体も生徒創作部門の最優秀賞を受賞しました。



【書道部】第32回県高校総合文化祭において、3年生武仲由莉香さん（龍門様式）が、高文連会長賞という最高の賞に輝きました。

また、表彰式会場で謝辞を代表した竹中さんのあいさつも素晴らしいと称賛されたのです。

さらに2年生花房玲香さん（隸書）も全国総文推

武仲由莉香さんの書「北魏の龍門様式」



薦賞を受賞し、来年の全国大会に出品することになっていきます。また、花房さんは毎日新聞社優秀賞、武庫川女子大全国高校書道展（読売新聞後援）で学長賞も受賞しています。吉田衣里さんは毎日新聞秀作賞を受賞しました。

この栄誉に心から讃辞を送りたいと思います。作品は本校玄関に展示していますので、みなさんもぜひ鑑賞してください。

また、生徒だけでなく書道を指導されています山口美鈴先生が、平成15年の日展初入選に続き、二度目の入選を果たされました。作品は山上憶良の「子等」を思ふ歌を調和体で3.4mの卷子本（かんすぼん）に仕上げたものです。

ちょっと一言 めっきり寒くなり、風邪の引きやすい季節となりました。体調不良になると気力が低下し、学習や部活動に大いに支障をきたします。当然、治療費も必要となります。予防策の基本は、十分な栄養補給と十分な睡眠にあることは、ご存知のところ。しかし、十分な睡眠をとることができないのが現実だと思ひます。そこで改めて認識してほしいことが「うがい」と「手洗い」です。この方法は、効果が絶大で、実施も簡単です。何も「うがい薬」が必要とは限りませぬ。高知大学医学部教授の研究によると、うがい薬（ポビドンヨード）より、「水」だけのうがいの方が24%も予防効果があると発表しています。「水うがい」と「手洗い」を数多くしましよ。